



いわせほっとニュース

<http://www.iwase-hp.jp/> 発行日 2017年9月20日

[公立岩瀬病院の基本理念]

患者さん中心の医療を実践し、地域の皆さんに信頼される病院をめざします。



手術中の柳田知彦医師

目 次

◆ Dr's Cafe「血尿について」	2	◆ 中学生職場体験	5
◆ オープンシステム総会開催	3	◆ 院内職場紹介「化学療法室」	5
◆ シリーズ チーム医療⑭	3	◆ シリーズ 助産師①	5
◆ 病院見学・病院実習	4	◆ 病院用語ナビ『嚥下内視鏡検査』	6
◆ 気を付けよう!!食中毒!!	4	◆ 健康レシピ	6



Dr's Cafe

泌尿器科部長 柳田知彦



このような症状には要注意 —赤い尿ができる、血尿について—

血尿は病気の重要なサイン

血尿は、尿に血液成分の赤血球が混じる状況をさします。尿の色も、鮮やかな赤～赤黒い色まで様々あります。血尿は、尿を作っている腎臓や、尿管～膀胱といった尿の通り道の病気の重要なサインと言えます。血尿以外の症状がないとき（無症候性血尿）や、血尿がすぐに治った場合でも、思わぬ病気が隠れていることがあります。一度でも血尿が出たときには、放置せずに医療機関で原因を調べる検査を受けることをお勧めします。尿の色に異常がなく、検診などの尿検査で潜血反応が陽性だった場合にも、念のために受診をお勧めします。

血尿の原因

血尿の原因としては、膀胱がんなどの悪性腫瘍や尿路結石、膀胱炎といった炎症性疾患など様々なものがあります（下表）。検診の尿検査で尿潜血と蛋白尿を指摘されたときには、糸球体腎炎などの腎臓内科的な病気が見つかることもあります。

また、調べても原因となる病気が見あたらないこともよくあります。なかでも悪性腫瘍では早期発見が重要ですので、血尿が出たときには、このような病気が隠れていないかを調べて早期に対処することが大切です。

血尿の原因を調べる検査

血尿のときの検査は、まずは体に負担が少ない尿検査や超音波（エコー）検査から始めます。痛みの部位や排尿症状を確認するとともに、尿検査で蛋白尿や白血球（炎症細胞）、悪性細胞がないか確認し、さらにエコー検査で腎臓や尿路に腫瘍や結石がないかを調べます。腎臓や尿路の腫瘍が疑われる場合には、CT検査や尿路造影検査、内視鏡（膀胱鏡）検査などのさらに詳しい検査を追加します。当院の泌尿器科では、膀胱鏡検査を受ける患者さんの苦痛を少しでもやわらげるために、軟性鏡（柔らかい内視鏡）を使うようにしています。

血尿がでたときには、かかりつけの病院やクリニックにまずはご相談いただくか、お近くの泌尿器科を受診することをお勧めします。

	腎臓の問題	腎孟、尿管の問題	膀胱の問題	前立腺、尿道の問題
悪性腫瘍(がん)	腎細胞がん	腎孟がん、尿管がん	膀胱がん	前立腺がん(男性のみ)
良性腫瘍	—	—	—	前立腺肥大症(男性のみ) 尿道カルンクリル(女性のみ)
尿路結石	腎結石	尿管結石	膀胱結石	尿道結石
炎症性疾患	糸球体腎炎 IgA腎症	腎孟腎炎	膀胱炎	前立腺炎、尿道炎
その他	遊走腎 多発のう胞腎 特発性腎出血	—	—	—

オープンシステム総会開催

6月22日(木)グランシア須賀川を会場に公立岩瀬病院オープンシステム総会を開催しました。地域の医療関係者や病院職員ら約240名が参加しました。これは、オープンシステム登録医をはじめ、病病連携や病診連携、また医療・介護連携の一層の向上を目的とし毎年開催しているもので今年で17回目となりました。

総会では、はじめに伊東幸雄企業長が4月1日産科婦人科病棟の開所式を盛大に執り行うことができ、140年以上続く病院の歴史が大きく動いたと御礼を述べました。また、医師については4月1日現在33名体制となり、診療体制が強化されていることを報告し、紹介率50%・逆紹介率70%の目標に近づけるよう努力していきたいとあいさつしました。三浦純一病院長、高橋清二須賀川医師会長のあいさつに続き、安田俊産科婦人科部長と小田慎一医局長兼小児科部長がそれぞれ講演を行いました。



安田俊産科婦人科部長

安田俊産科婦人科部長は「産科婦人科開設にあたって」をテーマに、福島県内の分娩数推移などをわかりやすく解説し、当院での産科婦人科開設後の約3か月間で分娩数が100件を超えたことなどを報告しました。

また、小田慎一医局長兼小児科部長は「当院小児科の現状と今後の展望について」をテーマに、統計に基づいた患者推移や年齢分布、疾患別入院割合などを報告し、呼吸器疾患に対する体外式人工呼吸器を使用した臨床症例などについて発表しました。その後懇親会を開催し、福祉や介護、行政など他職種から約140人が参加し交流を深めました。



小田慎一医局長兼小児科部長

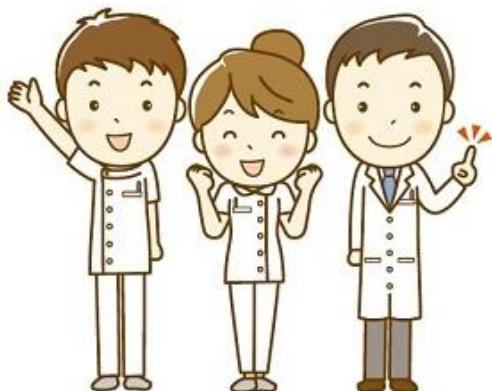


会場の様子



シリーズ チーム医療⑯

「自分の科から見るチーム医療について」



NICU/GCU病棟 根本恭代

今年4月に「安心して子どもを産み育てられる地域づくりのために」を目標に産科婦人科病棟と共にNICU/GCU病棟を開設しました。出生後に治療が必要となったお子さんを一時的に預かりし、元気にしてご家族のもとへお返ししています。

開設したばかりの病棟のため、経験豊富なスタッフを迎え、他職種の協力を得ながら体制作りをしているところです。

少しでも早く、赤ちゃん、ご両親、ご家族の安心した笑顔が見られるよう、医師、スタッフ一丸となって赤ちゃんの治療に取り組んでいます。

病院見学・病院実習

今年度に入り、福島県立医科大学の外科講座・泌尿器科講座から当院に1週間の病院実習に来て下さる医学生さんが多くなってきました。

5月は外科に1名、6月は外科に1名、泌尿器科に2名、7月には外科に2名の学生さんが実習に来てくれました。実習では指導医の先生方のもと、外来や手術の見学、補助など様々な体験をしていただいています。来て下さる皆さんにとって充実した実習期間となるようにしていきたいと思います。

また、病院見学の積極的な受け入れを行い、当院の研修の魅力を感じてもらえるよう努力していきたいと思います。



気をつけよう!!食中毒!!

食中毒の原因は、細菌やウィルスなど微生物によるもの、自然毒によるもの、化学物質によるもの、最近話題の寄生虫によるもの、などいろいろあります。中でも、毎年件数や患者数が一番多いのが細菌やウィルスを原因とする食中毒です。細菌やウィルスは高温多湿を好むものが多く、増殖しやすい温度は20~50℃です(ただし、ノロウイルスのように低温や乾燥に強いものもあります)。

食中毒にならないために、手洗いを励行し、調理の際は清潔な器具を用い、加熱は充分に、調理後はなるべく早く食べる、ということを意識しましょう(刺身など生で食べる場合は新鮮なものを)。食中毒を防ぎ、元気に生活しましょう。

細菌が繁殖しやすい夏場(6月~8月)は、食中毒が多く発生します。

その原因となる細菌の代表的なものは、腸管出血性大腸菌やカンピロバクター、サルモネラ属菌などです。

～細菌による食中毒予防の原則～



- ・細菌を食べ物に「つけない」→手洗い、食べ物の洗浄
- ・食べ物に付着した細菌を「増やさない」→食べ物の温度管理
- ・食べ物や調理器具に付着した細菌を「やっつける」→調理器具の洗浄+消毒



病原体による症状、潜伏期間、原因食品

原因病原体	関連食品	症状	潜伏期間
カンピロバクター	鶏肉		2~5日
腸管出血性大腸菌	肉、野菜、加工食品	下痢、嘔吐、血便、発熱、腹痛	3~4日(最大18日)
サルモネラ	肉、鶏肉、弁当などの加工食品		12~72時間



中学生職場体験 夢をかなえるお手伝いをしています



「夢がかなうように頑張ります！」中学生たちが職場体験を終えて言った言葉です。キラキラした瞳で将来の目標を話してくれました。

毎年、この時期になると医療職に興味を持つ中学生たちが、職場体験として当院を訪れます。その目的は、「働くことの意義や尊さを知る」「進路選択に役立てる」などです。具体的に医師、看護師、助産師、理学療法士、放射線技師、薬剤師など、なりたい職業を決めている生徒も少なくありません。

「私たちが作ったあのベッドに患者さんが寝る、本当ですか？」

「赤ちゃんかわいい、助産師になりたいんです」「何を勉強すれば看護師になれますか？」「頑張って医師を目指します」などなど、体験のあとは話がとまりません。願わくば生まれ育ったこの地で、地域の方々の健康を守る仕事に就いてほしいと期待します。

毎回、明るく元気な中学生の未来を想像しながら、夢を実現するお手伝いをさせていただいているます。



部署紹介《化学療法室》

当院の化学療法室はベッド、リクライニングチェア合わせて12床で看護スタッフ3名、各科の医師、薬剤師、MSWなどと協同し運営しています。

当院では化学療法開始にあたり、医師から治療の説明を受けた患者さんへMSWから医療費や社会資源の活用に関する事を、薬剤師からは治療内容、治療スケジュール、作用・副作用などを説明しております。看護師は患者さんが生活していくうえでの注意点や患者さんご自身ができるケアを説明しています。

治療をしていくうえでの困りごとなどは治療の際に患者さんからお聞きし、医師に確認をとったり、栄養指導に入ってもらったり、薬剤の説明を再度行ったりして患者さんが安心して治療を行えるよう支援しています。



シリーズ 助産師 Vol.1

助産師 渡邊 美保

今年4月から産婦人科診療がスタートし、現在、産婦人科外来・病棟合わせて17名の助産師が在籍しています。

「助産師」は、かつて「産婆(さんば)」と呼ばれ、昔から地域の女性のお産と家族の健康にかかわってきました。古くは江戸時代に、お産があるというと産婆は大名行列を横切ることを許されていたという逸話があります。命の大切さは今も昔も変わらないということなのでしょう。

現在は「助産師」と名称を変えましたが、ずっと女性とその家族の支援を続けてきた職業です。私たちは「安全な出産」・「安心して育児ができる」・「将来にわたり家族皆が健康に」を目標に、広くは子供たちの命を守る教育や、妊娠、出産、産後、その後のライフサイクル全般にわたって、専門職として皆様のお役に立ちたいと思っております。お気軽にお声かけください。どうぞよろしくお願ひいたします。



～「嚥下内視鏡検査」とは～

鼻から約3mmの内視鏡を挿入して、食べ物や飲み物を摂取した時の、嚥下(飲み込み)の状態を観察・評価する検査です。

のどの状態を直視できるので、のどの形態の異常の有無、唾液・痰などの分泌物の貯留の有無、誤嚥の有無などを観察できます。当院で使用している嚥下内視鏡は持ち運びが可能なため、場所と時間の制約がありません。よって、ベッドサイドや在宅、施設への往診にも対応が可能であり、実際の食事場面、普段食べている食べ物や飲み物での評価が可能です。検査の結果から、適切な食事形態や姿勢の調整、一口量の調整などを行うことができます。

水やお茶を飲むとむせることがある、食べ物がのどに残る・つかえる感じがするといった症状の方にはお勧めしたい検査です。



健康レシピ

さっぱりと残暑の疲労回復に

「豚肉の梅しそチーズフライ」



一人分 エネルギー/402kcal 蛋白質/18.8g 脂質/26.6g
炭水化物/19.2g 塩分/2.1g ビタミンB1/0.51g

《材 料》(1人分)

豚ロース(薄切り)	2枚	パン粉	適量	揚げ油	適量
塩・こしょう	少々	レモン	1/8個		
青じそ	2枚				
スライスチーズ	1枚				
梅干し(小さめのもの)	2個				
小麦粉	適量				
卵	1個				

【お好みで】ミニトマト 2個
ベビーリーフ 20g
レタス 10g

作り方

- ① 梅干は種を取り、包丁できざみ、ペースト状にしておく。
- ② 豚肉は1枚を広げ、塩・こしょうしておく。
- ③ 豚肉の上に、チーズ1/2枚、青じそ1枚、梅干しの順に乗せ、端から巻いていく。
- ④ 包んだ豚肉に小麦粉、卵、パン粉の順で衣をつけ170度の油で揚げる。
- ⑤ 真ん中を斜めに切り、レモンを添えて盛り付ける。



豚肉に多く含まれるビタミンB1と梅干しやレモンに含まれるクエン酸を組み合わせて摂ることで、より疲労回復の効果が期待できます。

編集・発行 公立岩瀬病院 広報委員会(広報誌発行部会)

〒962-8503 福島県須賀川市北町20番地

Tel 0248-75-3111 Fax 0248-73-2417 E-mail koho@iwase-hp.jp